

平成 30 年度全日本卓球選手権大会（団体の部） 実施要項

- (1) 名 称 平成 30 年度全日本卓球選手権大会（団体の部）
- (2) 期 日 平成 30 年 10 月 12 日（金）～14 日（日）
- (3) 会 場 日立市池の川さくらアリーナ（JR 常磐線日立駅から車で約 8 分、徒歩約 30 分）
 JR 常磐線常陸多賀駅から車で約 11 分、徒歩約 45 分）
 〒316-0034 茨城県日立市東成沢町 2-15-1 TEL：0294-35-0767
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会、日立市、日立市教育委員会、
 いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会日立市実行委員会
- (5) 主 管 茨城県卓球連盟、日立市卓球協会
- (6) 後 援 茨城県、茨城県教育委員会、いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会
 公益財団法人茨城県体育協会、公益財団法人日立市体育協会
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①監督 1 名、コーチ 1 名、選手 3～5 名をもって編成する。
 （3 名で試合を行う。コーチがない編成も認める）
 ②監督・コーチが選手を兼ねることができるが、必ず選手登録をすること。
 ③男女とも世界選手権の団体戦方式を採用し、3 点先取で勝敗を決める。
 ただし、外国籍選手は C 又は Z のみに出場することができる。
- | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (ABC) | A | B | C | A | B |
| (XYZ) | X | Y | Z | Y | X |
- ④第 1 ステージ：1 グループ 3 チームで編成してリーグ戦を行う。
 ⑤第 2 ステージ：第 1 ステージ各グループの上位 2 位の 8 チームによりトーナメント方式にて準々決勝から決勝までを行う。（グループ 1、2 位は決勝まで対戦しない）
- (9) 競技日程
- | | | |
|--------------|-------------------|-------------|
| 10 月 12 日（金） | 監督会議 | 9:30～10:30 |
| | 開会式 | 11:00～11:30 |
| | 第 1 ステージ | 12:30～18:00 |
| 13 日（土） | 第 1 ステージ、決勝トーナメント | 9:00～15:00 |
| 14 日（日） | 決勝トーナメント（準決勝・決勝） | 9:00～14:00 |
| | 閉会式 | 競技終了後 |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。ただし、全試合 5 ゲームで行う。
 ②テーブルはブルーを使用する。
 ③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみを使用する。
 ④ゼッケンは平成 30 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。ただし県選抜、JNT については本会でゼッケンを用意する。
 ⑤ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①チームを構成する選手は当該年度の（公財）日本卓球協会選手登録をし、監督・コーチは（公財）日本卓球協会役員登録をしていること。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。選手は段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者とする。
 ②平成 30 年度下記大会の成績から終了後に決定、選抜されるが、その大会に出場したメンバーを必ず 2 名以上試合に出場させることを条件とする。また、外国籍選手の出場は、1 試合に 1 名までとする。なお、選手は段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
- 推薦内訳 ※（ ）内は推薦対象とする大会
- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| (ア) 実業団 | （全日本実業団選手権大会） | 男・女各 4 チーム |
| (イ) 日本リーグ | （日本リーグ） | 男・女各 2 チーム |
| (ウ) 日学連 | （全日本大学総合選手権団体） | 男・女各 2 チーム |
| (エ) 高体連 | （全国高校選手権大会） | 男・女各 2 チーム |
| (オ) 茨城県選抜チーム | | 男・女各 1 チーム |
| (カ) J N T | （ジュニアナショナルチーム） | 男・女各 1 チーム |
- ③実業団・大学・高等学校の代表チームと同一チームに所属する選手は、選抜チーム又はジュニアナショナルチームの一員として出場することはできない。
 ④開催地選抜チームのメンバーについては、平成 30 年度の本会登録者であり、同年度に行なわれる国民体育大会の当該地代表選手（予選も含む）又は、翌年度国民体育大会の当該地代表候補になっている選手であれば、当該加盟団体よりその旨の申請をし出場を認める。
 ⑤申し込み後の監督、コーチ、選手の変更、追加は監督会議終了までに届を提出すること。監督会議後の変更は認められない。
- (12) 参加数 男子・女子各 12 チーム（上記推薦内訳参照） ※定数に満たない場合の補充は本会で別途考慮する。
- (13) 参加料 1 チーム 50,000 円
- (14) 申込方法 この大会に限り、推薦チームに直接申込書を送付する。推薦されたチームは、別紙参加申込書に必要事項を明記し、1 部を下記①宛（公財）日本卓球協会に直接郵送すると同時に、参加料を現金書留郵便又は振込（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会）にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。なお、送付に係る手数料は推薦チームで負担すること。また、申込書のコピーを下記②、③へそれぞれ郵送すること。

申込書の送付先： ①原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財) 日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

②コピーを〒309-1712 茨城県笠間市長免路696 野口 文男 気付
茨城県卓球連盟 宛

TEL・FAX: 0296-77-3381

③コピーを所属する加盟団体【(都道府県)と(高体連・日学連・日本リーグ)】の両方へ。
締切日迄に申込み及び参加料の納入がない場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、
必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(15) 申込締切 平成30年9月4日(火) 必着のこと。

(16) 宿 泊 宿泊案内は申込受付後、旅行会社より発送します。

(17) そ の 他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は必ず本会宛速やかに連絡すること。

②開会式には原則として全員参加すること。

③病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はし
ますが、各自の責任に帰することとします。

④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑤個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利
用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

⑥本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

※昨年度優勝チーム(男子:協和発酵キリン、女子:日立化成)は、必ず優勝旗を開会式会場に持参して下さい。

推薦チーム一覧表

実 業 団			
男 子		女 子	
1	シチズン時計株式会社 (東京)	1	日立化成 (茨城)
2	リコー (東京)	2	デンソー (静岡)
3	東京アート (東京)	3	十六銀行 (岐阜)
4	協和発酵キリン (東京)	4	豊田自動織機 (愛知)
1	日鉄住金物流 (和歌山)	1	中国電力 (広島)
2	クローバー歯科 (大阪)	2	サンリツ (東京)
大 学			
男 子		女 子	
1	専修大学 (東京)	1	早稲田大学 (東京)
2	明治大学 (東京)	2	中央大学 (東京)
高 校			
男 子		女 子	
1	高校 ()	1	高校 ()
2	高校 ()	2	高校 ()
開 催 地			
男 子		女 子	
1	茨城県選抜	1	茨城県選抜
ジュニアナショナルチーム			
男 子		女 子	
1	ジュニアナショナルチーム (JNT)	1	ジュニアナショナルチーム (JNT)

注1) 段級制規程要約

段位取得について(平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)

③全日本選手権大会(一般・ジュニア) ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約(平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会3回目出場者	2段
(ウ) 同一大会5回目出場者	3段
(エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト16入り経験者	4段
(オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト4入賞経験者	5段
(カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者	6段